

今週のプログラム

- 第2548回(4/5)
- 会場 京王プラザホテル八王子

*三祝

- *会員卓話：山本俊明会員
- テーマ：イニシエーションスピーチ
- *メジャードナー表彰：三浦真一会員

次回のプログラム

- 第2549回(4/12)
- 会場 京王プラザホテル八王子

*会員卓話：田辺隆一郎会員

- テーマ：1964年東京オリンピックの
八王子と私

障がい者の概要

日本の障がい者数ですが、内閣府の障害者白書の統計で総数936万人いるといわれています。

本日は、企業における障がい者雇用の取り組みと課題についてお話ししたいと思います。なかなか馴染みのないお話かと思いますが、少しでも皆様の参考になればと幸いかなと思っております。

私もNTTの特例子会社で障がい者雇用の促進を図っている会社です。最近、公務員の水増し問題とかありまして、障がい者雇用は注目を浴びているところだと思っています。

皆様、こんにちは。ただいまご紹介頂きました、NTTクラリティの半沢と申します。本日は本当に貴重な時間を頂戴致しまして、ありがとうございます。



NTTクラリティ(株)
代表取締役社長 半沢一也氏

卓話 「企業における障がい者雇用の取組みと課題」

まず、これは日本の総人口の約7.4%ということで、14人に一人は障がい者ということになります。

障害の内訳ですが、大きく3つの障害種別に分かれます。

一つ目が身体障がい者ということで、身体機能の一部に障害が生じている者で、肢体不自由、視覚障害、聴覚障害あるいは内臓障害と申しまして心臓に疾患がある者、腎臓透析をしている者といった方々です。全国で436万人いると言われてまして、企業の雇用義務が法令で決まっています。身体障害者手帳というものを保持して、1級から6級に分かれます。重いものから1級となります。

二つ目が、知的障がい者。これは知的能力や適応機能に障害があるということで、一般的には知能指数が70以下の者ということとなります。全国で108万人いると言われてます。こちらの方も企業では必ず雇用しなさいということで、義務化されています。療育手帳というものを保持して、1級から4級に分かれます。重いものから1級となります。

三つ目が、精神障がい者。皆様がよくお聞きになると思いますが、よくよく聞くと、精神障がい者が増えています。近年かなりこの精神障がい者が増えてきています。いまのところ身体障がい者の数が一番多いのですが、あと二、三年したらこの精神障がい者が一番多くなるのではと言われております。このストレス社会ですので、かなり増えてきている傾向にあります。精神障がい者はこれまでは企業の雇用義務ということではなかったのですが、昨年の4月から必ず企業でも雇用しなさいということになりました。精神障害福祉手帳というものを保持して、1級から3級に分かれます。

そんな中で民間企業で働いている障がい者の数は49万人というふうになっています。雇用率に直しますと1.97%ということですが、毎年雇用は増えております。身体障がい者33万人、知的障がい者21万人、精神障がい者5万人と一番少ないですが対前年度で見ますと一番精神障がい者が約20%増加しています。今は身体障がい者の方は企業が取り合いのようになっ

ております。とくに首都圏では雇用が難しくなっております。一番多いのは精神障がい者となっております。

国はもとより法定雇用率2.5%、民間企業は2.2%ですので、高い法定雇用率ですけれども、水増し問題の前は国は7,600人くらい雇用していると言われてました。実質雇用率は2.5%を超えていたのですが、水増し問題が発覚しまして、民間企業よりもいい加減な基準でカウントされていることがわかり、実質は雇用率が1.22%で法定雇用率に全く達していなかったことが発覚しました。地方自治体も多少ごまかしがあつて、全体では7,200人が不正に参入されていたということになります。そういう事があつたので地方省庁中心に障がい者の選考をしっかりとやっていくということで、今年度2019年度末までには4,000人を採用しようという取り組みをおこなっております。

しかし、つい先日、この4,000人の雇用は今年度中には無理だということが判明しました。来年、再来年に向けてまた雇用していくということで国から発表がありました。ただ我々

2019年3月8日(金)

民間企業からすると4,000人採用するということはなかなか厳しいと思います。したがって今、雇用されていない例えば福祉関係にいる人を雇用するといつてもなかなか厳しいので、結果的には民間からの引き抜きになつてしまふのではないかと思います。実は弊社からも公務員試験を受けた者がいまして、結果発表はされていませんが、合格したならばそちらにいつてしまふのではないかと危惧しております。

障害者雇用促進法

では民間企業も含めまして、どのような考え方で雇用していくのかと申しますと、実は障がい者雇用促進法という法令がありまして、そこには全ての事業者は障がい者を雇用しなさいというところで法令にうたつております。一般の事業主の方は、常用雇用者数のうち必ず2・2%は雇用しなさいということです。ですから、全従業員、例えば100人いましたら3人は雇用しなさいということです。近年の法定雇用率の推移は1・1とか1・4くらいから始まつてきたのですが、徐々に上がつてきまして、2018年4月に2・2%になりました。2021年までには

2・3%ということで厚生労働省の方から発表になっております。さらに4年後になります。アップすることになると言われております。たぶん2・5とか2・6くらいにはなるのではないかと世間では言われております。法定雇用率を守らなければ何か罰則があるかというところ、実は障害者納付金制度というものがありません。これは障がい者雇用に伴う事業主の経済負担の調整を図るということで、雇用率を達成しない企業から納付金を徴収し、雇用率をきちんとして達成している企業に調整金という名前でお金を与えましょうというふうな仕組みになつております。雇用率を達成していない企業は、不足一人当たり月に5万円、年間で60万円を雇用支援機構にお金が徴収されます。きつちりと雇用率を達成している企業で法定雇用率2・2%を超えている部分の超過分に関して一人当たり2万7,000円を支給します。ですから5万円を徴収して2万7,000円を支給して、残り2万7,000円を支給して、残りは助成金という形で支払われます。さらに雇用率が継続して達成できない場合は、ペナルティとして企業名が公表されてしまふということになり、企業

イメージが低下することになります。競争入札もできなくなります。国にはこういう制度がないので、ごまかしが生じてしまいました。

特例子会社 弊社での取り組み

こういった背景の中で、企業がどういった雇用努力をしているかという話をします。弊社の障がい者雇用の話を参考例としてお話ししますと、弊社は、創業15年目を迎えました。本社が東京都武蔵野市にありまして、事業所が他に5つあります。北は札幌、仙台から山梨県の甲州市にもあります。社員数は1月1日現在で404名で、うち障がい者が304名です。障がい者の内訳でいくと肢体不自由が一番多くて104名、視覚障害、聴覚障害、知的障害、精神障害、あらゆる障害の方を雇用しています。特徴的なのが精神障がい者74名です。3年くらい前までは精神障害の方はほとんどいなかったのですが、ここ2、3年で74名まで増えました。親会社はNTTです。関係会社が17社ありまして、弊社と合わせまして19社あり、そのグループ全体で法定雇用率を達成しようというところで、2・6%となつてお

り、法定雇用率を守つております。特例子会社とは何かと申しますと、必ず個々の企業で法定雇用率を守りなさいということになつておりますが、事業主が障がい者雇用を特別の配慮をした子会社を作つて一定の要件を満たす場合には、特例としてその子会社で雇用されている労働者をその親会社で雇用していることとみなすことができるとなつており、そのためにできた子会社をいいます。したがって、親会社と関係会社、特例子会社、このグループ内で法定雇用率を守ればよいという特例があります。私どものような特例子会社は全国で490社ありまして、大手企業が中心になり、そこで積極的に障がい者を雇用しているというのが現在の企業の形として多くなつています。

特例子会社の要件は、必ず障がい者5人以上、全従業員に占める割合が20%以上といった規制がありまして、それをクリアしていれば設立できます。

弊社は設立して障がい者3名で始まつた会社なのですが、順調に雇用拡大ができてまして304名までになりました。さらに法定雇用率が上がるということですので、2023年までには400名くらいまでいきたいと思

います。組織は5つの部がありまして、営業部からビジネスサービス部といろんなタスクで事業を展開しております。各部署でいろんな障がい者を雇用してあらゆる障がい者にマッチするような事業を障がい者の方にやっていただいております。非常に優秀な社員もいまして、障がい者でも課長になる人、課長代理になる人、主任などのポストに就く人が今のところ48名います。肢体不自由の方もそれぞれマッチした仕事に就けば能力を発揮できますし、精神障害の方々は、多くは前職で過重労働にあつた精神障害になつた方が多いので、もともと大変にまじめな方が多いので、ちよつとした健康面の配慮してあげれば十分に活躍できます。

大事なのは障害への配慮

では、どのような事業をやっているかといいますと、障害を強みにしたと我々は言つておりますけれども、例えばバリアフリーのチェックをしたりとか、あとはポータルサイトの運営をしたりとか、障がい者理解の研修をおこなつています。あとは、障がい者雇用のコンサルティングをしております。それとものづくり

というところでは、山梨の塩山で酒パックを粉碎してカレーンダー等に再生するようなことをおこなっております。これは知的障がい者51名でやっています。あとはマッサージを国家資格を持った視覚障がい者の方に従事していただいております。また、NTTの受託業務を請け負ってやっております。それとCSR活動として、地域にダイバーシティの推進を図るため、小学校に出向いて授業を行い障がい者理解に努めてもらっております。近隣の武蔵野、三鷹、八王子等の小学校にもお世話になっており、今まで1,000名くらい対象に実施してまいりました。地域の方にも、今まで1,000名くらいの方に見学にきて頂いております。やはり大事なのは障害への配慮ということになるのですけれども、弊社の基本的な考え方は、障がい者も健常者も区別しないで、サポートして欲しいことがあれば自分から言っているというようにしております。ただし配慮すべきことは結構ありますので、そこはきっちりやっていくというところで、例えば、肢体不自由者用に駐車場は少し広めにス

ペースを確保したり、屋根を付けたら、トイレも車いす用を用意したり、コピー機の高さも調節したりしております。視覚障がい者には音声の読み上げソフトをパソコンに入れたり、点字ディスプレイを使ったりといった配慮をしております。聴覚障害に関しては手話通訳をいれたりしております。知的障害については、どうしても家庭との連携が必要ですので、ご家庭との連絡帳を書いて様子のやりとりをしております。それ以外にも地域の支援者がいまして、家庭と会社以外でもフォローして頂いております。精神障害につきましては、いろいろな特性の方がおりますので、それぞれの支援機関や医師との連携が重要となつてきます。とにかく、何かあったら相談できるよう精神福祉士や臨床心理士で相談室を設けております。一般企業でも投資家の方々がこういった評価をするかというと、企業の利益だけでなく、企業のダイバーシティを含めたところでの評価が最近増えてきておりますので、こういったことが重要になってくるのかと思います。参考までに、弊社では、

2020年のパラリンピックに参加するアスリートが2名おりまして、一人はブラインドサッカーといまして視覚障がい者の5人制のサッカーの日本代表がおります。また、もう一人はブラインドマラソンの世界ランキング4位の選手がいます。応援して頂けたらと思います。

最後にまとめと致しまして、私もさまざまな障がい者の方と一緒に働いていていろいろなメリットがあるなど感じております。

障がい者は真摯に仕事に向き合う方が多いです。彼らと働くことによって、従業員全体のモチベーションがアップする、職場が活性化するという効果があると思います。それと障害特性に配慮した業務を考えていくと、新しいビジネスモデルの開拓につながると思っています。障害の配慮を考えるためのミーティングを通して職場の風通しがよくなり、社員への理解が深まるように思います。さまざまな障がい者と共に働くということで共生社会の実現あるいはダイバーシティ実現に向けての社員理解が深まるという事です。CSRの一環とか企業の責務

を果たすということで地域社会の信頼を得られる、企業の価値が上がるということにも繋がるかなと思います。

今後の課題として、積極的に雇用拡大を図っていかねばならないということを他の企業と連携し、学びながら今

後やっていきたいなと思っています。



ニコニコボックス

●2019・3・8(金)

◆峰尾会長・今話題の障害者雇用、卓話宜しくお願い致します。

◆小沢幹事・半沢一也様卓話よろしく申し上げます。

◆小坂優(東京八王子ロータリークラブ)・

青少年交換へのご支援ありがとうございます。

本日交換学生のリシより御礼申し上げます。

◆宮原・妻の誕生日プレゼントをありがとうございます！

した！

◆白石・妻の誕生日プレゼントありがとうございます。

◆町田・今月誕生日です。ありがとうございます。

◆小松・結婚祝のお花ありがとうございます。

◆佐藤・半沢社長、卓話よろしくお願い致します。

●2019・3・15(金)

◆峰尾会長・卓話よろしく申し上げます。

◆小沢幹事・飯尾淳教授、卓話よろしく申し上げます。

◆杉本・女房の誕生日ありがとうございます。

卓話 「読書感想文コンクール作品を対象とした計量テキスト分析」

2019年3月15日(金)



中央大学文学部社会情報学教授
飯尾 淳 様

読書感想文コンクールですけれども、毎年約4千通の小学生中学生からの応募があるところがつておりますが、一方で審査の方も非常に大変である、皆さまに協力を依頼して一生懸命やつていただいているとおうかがいしております。本当にありがとうございます。私もこちらの分析で、現場を知らずして利用するというのは、社会科学をやるうえで、机上の学問になる。そうならないように、できるだけ現場に行くということを努めてやつておりますので、去年の夏、二次審査を私も少しだけお手伝いをいたしました。なので、審査の大変さを身をもつて感じた次第です。八王子市からうかがっている目標としては、やはり、作文

指導でのフィードバックがほしいというのが、メインの分析の目的

あるいは目標であると位置づけています。それとともに審査がとても大変だということで、審査の自動化、効率化になにかしかな目標も考えております。実際に、これは後でお話しますが、ハードルが高くて、昨今流行りのAI、人工知能を使って、子供たちの作品を瞬時に、これはいい作品だと判定できると、皆さまの労力も軽減される。(しかし)全自動で全部最後まで判断すると、色々な問題があるだろうという話もありますので、なかなかそこまで難しいかもしれません。少なくとも審査に若干のヒントを与えるようなことはできないかという大きな目標も考えてやつております。もともとこの話を持ってきた八王子の伊比さん、当時担当だった、彼は彼で大きな野望を抱いていて、八王子モデルを作って全国行脚したいというようなことを言っていました。残念ながら担当が変わってしまったので、その野望は潰えてしまったようですが、そんな状況でございます。

計量テキスト分析

わたくし共でどういう分析をしたのかということで、計量テキスト分析のお話をします。計量テキスト分析というのは、テキストを計量して分析するというところで、テキストとは文章で、文章は文字の羅列なんですけれども、それを数値化し、数値化する量を計ることができると。文章をながしのかの方法で数値化して、それを分析するというような分析方法が計量テキスト分析といわれるものです。具体的には色々なやり方がありますが、今日ご紹介する方法以外にもたくさんあります。例えば応用として、私が聞いた話で非常に面白い分析をしたのが、ヨーロッパの片田舎で納屋の中からシェイクスピアのものと思われる無記名原稿が出てきた。それを計量テキスト分析で、本当にシェイクスピアが書いたものか判定したというような、それも人工知能の応用例だということでしたが、その人工知能で判定するときは、なにがしかの数値化が必ず必要なんです。なので、そういった人工知能を使って、ヨーロッ

パの片田舎から出てきた原稿が、判定した結果、実際にシェイクスピアの原稿だったという判定が行われたと聞いております。そういう応用例もある方法です。今回やりました作品の分析ですけれども、対象の作品は、まず優秀作品が51作品、優秀作品とは平成24年度、読書感想文コンクールが始まったところから平成28年度までの入選作品を対象にして、1年間で大体10作品、5年間で51作品、これを優秀作品群として、まず一つのグループとしました。そして、本年度の一般作品をもう一つのグループとし、比較対象としました。こちらは47作品です。

使われている言葉にどのような特徴があるかという、その数値化の方法ですが、具体的には、単語の出現頻度を計算いたします。単語の出現頻度とは何かと申し上げますと、まず、形態素解析という作業をして、文章をばらばらにします。形態素解析をしてバラバラにして、名詞、形容詞、動詞、助動詞等の品詞ごとに分けますが、その中で今回は名詞と形容詞のみに注目しまして、それをコン

ピュータを用いて、ひたすら数え上げます。数え上げて、全体の中でそれは何回出てきたのかという割合を計算したものが、出現頻度です。優秀作品との比較対象で出現頻度にどんな差があるのかというのをご紹介いたしますと、優秀作品群で出現頻度が一番多かったのが「私」、そして次が「自分」、それに対して比較対象の方を見ますと、一番多かったのが「本」という言葉でした。「本」が3・2%ありました。その他がここにあげた数値になっています。単語出現頻度でどういうふうになったのかという話ですけれども、まず、形態素解析でまず名詞と形容詞を抽出しました。それで、全体で使われている単語のうち、何パーセントぐらい出ているのかということとを算出したのが出現頻度です。先ほど優秀作品のトップページのワードを基準にご紹介しましたが、比較対象のトップページワードは、先ほどの表に入っていない「話」とか「すごい」「物語」「面白い」という言葉が入っております。

形態素解析をご存知ない方のため、若干補足を致します

と、英語とか欧米の言葉ですと、アルファベットでつづられていますが、単語間にスペースの区切りがありますので、品詞をばらばらにするのは非常に簡単ですが、日本語の場合は、スペースで区切っておりません。「庭には二羽鶏がいます」という文章を辞書で「庭 には 二羽 鶏がいます」と分ける作業をしないといけません。これを形態素解析といいます。発生頻度を比べるだけでも若干傾向の違いというものが見えるのですが、もう一步踏み込んで、「単語の共起関係」に着目します。単語の共起関係とは何かというと、ここに例文が挙げてありますが、「これは例文です。例として、日本語の難しさを指摘してみます。『象の鼻は長い』、さてこの分の主語は何か？日本語にはこのような曖昧さがあります。」という段落がまず一つあります。それに続きまして「英語の例文で」[The quick brown fox jumps over the lazy dog.]とごらんが使用されます。英語で使用される文字が全て使われています」という段落が次に続いています。この中で、赤で記した「例文」「日本語」「英語」という3つの言葉に着目してみますと、上の段落には「例文」という単語と「日

本語」という単語が入っています。下の段落には、同様に「例文」という単語と「英語」という単語が入っています。すなわち、一つの段落に同時に出てくるようなケース、この2つの単語間に共起関係が起くということと、共起関係があると定義します。一方でこの2つの段落を見ると、日本語という単語と英語という単語は、どちらにも出てきますが、一つの段落に出てこないの、「共起していない」という風に定義します。すなわち、日本語と英語には共起関係はありません。「日本語」と「例文」、「英語」と「例文」という単語の共起関係の間には共起関係があると言えます。先ほどの出現頻度と共起関係を用いますと、共起ネットワーク分析という分析ができます。この「共起ネットワーク分析」というのは、頻繁に出てくる単語の形勢を、図で表しわかるようにしようというのが「共起ネットワーク分析」と呼ばれるものです。この共起関係がどのくらいの確率で出ているのかというのを計算します。大体、共起関係の確立は非常に小さい確率です。確立としては0から1の間の数字を取りますが、非常に小さくて0・01とか、そのくらいの数字になります。そ

の中で比較的高いものどこかに「しきい値」を決めておいて0・05以上だったら線で結びましょうという関係性を図にしたものが、共起ネットワーク分析です。共起確率だけでなく、単語の出現頻度にも着目して、出現頻度の高い単語は少し目立つようにして、ということを図で表現すると、どうなりますかという話です。共起ネットワークグラフの解釈の一つの目安として、一番中心にくる、色々な単語とつながっている単語、色々な言葉とつながっていて、かつ、出現頻度の高い単語というのが、重要な単語と考えられます。その分析を行いますと、結果がこちらです。ここまでくると何となく一目瞭然にこの図を解釈することができまして、先ほど説明がありましたので、どちらがどちらとお分かりのことと思います。が、左側が優秀作品群のグラフで、右側が比較対象の作品群のグラフです。これを見ると一目瞭然なのが、優秀作品は「私」という言葉が中心になっていて、それに対して右側は、「本」という言葉が中心になっています。これの解釈ですが、よく、「良い読書感想文の書き方」という指導の中で、「読書感想文というのは、本の感想を書くだけではない

いです。本の感想をきつかけに
して、自分の考え、体験経験に
照らし合わせて、自分のことを
書きなさい。」というような指導
がよく行われていると思いま
す。それがこの図に現れている。
すなわち優秀作品として評価
された読書感想文は、「私のこ
とを一所懸命書いている。それ
に対してC判定、D判定の方は
本の説明に終始している。とい
う違いをこの図から読み解くこ
とができます。優秀作品は私が
中心になっていて、比較対象作
品は本が中心になっているとい
うことがわかりました。当たり
前といえば当たり前ですが、実
際に科学的に分析しても、そう
いうものだと思えます。そう
とが成果かなと思います。

さらに共起ネットワーク分析
で、最近私共がやっている面白い
トピックとして、SNS(Twitter
という若い皆さんが楽しんでや
られていると思いますが、あれの
トピック分析をやっております
て、この図は、ちよつと古いので
が1月の終わりに「大坂な
おみ選手」が全豪オープンで優
勝しましたが、優勝した時に、集
中のに彼女の話をしているのを
可視化したものです。今日はど
んなトピックがあったとかの分析
を実は毎日やっております。

共起ネットワーク分析以外にもいろいろなことをやっております、例えば外形的違いとして何があるのかといいますと、段落の長さなども見られました。優秀作品の方は、作文としても上手に書けています。それに対して比較対象の方は、段落が短いという傾向がみられて、これはおそらく、いやいや書かされていて、改行改行でどんどん書き散らしていつて、規定の枚数をうめるという涙ぐましい努力の結果なのかなというようなことも見えてきています。その辺のデータをグラフにすると、こんな感じになっていまして、ピンクの方は優秀作品で、段落の長さが割と長い方に寄っていますが、比較対象の方は短い段落が多いというのも見えてきました。あと、今後の課題ですけど、引用部分ですとか会話の部分の占める割合が多いのではないかと、使われている言葉にネガティブな言葉とポジティブな言葉、これを調べるのは極性分析という方法が使えます。誤字脱字は今回対象外にしましたけれど、それも加えるともっと面白いことができるのかなと今考えています。

ご清聴ありがとうございます。

八王子市ジュニア国際交流フレンド台湾訪問団

2019年3月28日(木)～30日(土)【泊3日】



読書感想画・感想文コンクールの入賞者から構成された八王子市ジュニア国際交流フレンド台湾訪問団は3月28日(木)～30日(土)の3日間にわたって八王子市の姉妹都市である高雄市の式典への出席、獅甲中学校との交流を目的として台湾を訪問しました。

訪問団は吉田郁美さん(浅川中)、田中里沙子さん(石川中)、青木星海さん(浅川中)、北垣花映さん(中山中)、清水七海さん(別所中)、漆間虹美さん(国立音大付属中)、森田彩花さん(橋原中)、苗村諒さん(七国中)、廣田叶さん(八王子学園八王子中)の入賞者9名と、八王子市から成田俊夫さん(川口図書館館長)、福島裕子さん(八王子市学校教育指導課、増谷美佑季さん(同市多文化共生推進課)。当クラブからは峰尾学会長始め13名の会員が参加し、当クラブ名誉会員であり、八王子・台湾友好交流協会代表でもある黒須隆一理事長にも御帯同頂き、総勢25名の構成となりました。

一日目、台湾到着後は老舗パイナップルケーキ屋さんの買い物や、世界で2番目に美しいとされるKRT(地下鉄)の美麗島駅を見学後、実際に地下鉄に乗り、その後夜景の見える公園で夜景を楽しむ、漢来大飯店にて夕食を食べ、宿泊先であるアンバサダーホテル高雄へチェックインし一日目は終了となりました。

二日目は、9時前にホテルを出発して獅甲中学校へ向かい、現地中学生の音楽演奏等の歓迎を受け、峰尾学会長が八王子訪問団を代表して記念品の交換を行いました。その後、学生たちは島の人形の作成体験やタブレットを使用したゲーム感覚で行われた英語の授業を台湾の学生たちと一緒に受けた後、給食を5つのクラスに分かれて頂くなど現地の学生たちと大いに交流を楽しみました。午後は式典会場である高雄市政府所へ移動し、高雄市長からは副市長始め関係者の方々にご出席いただき、八王子市と高雄市の入賞者の表彰式が盛大に行われました。表彰式終了後はホテルにて休憩後、海天下レストランにて美味しい海鮮料理を頂き、その後夜市へと繰出し、異国情緒を堪能し二日目は終了しました。

最終日である3日目は、朝から新幹線にて台北に移動し、到着後は故宮博物館を短い時間ながらも見学し、世界10大レストランに数えられる鼎泰豊にて昼食をとった後お土産屋さんに立ち寄り、台北松山空港から空路日本への帰路につきました。

3日間天気にも恵まれ、盛沢山なスケジュールの中でも学生たちは元気に異国での貴重な体験を楽しんでくれていました。最後に、今回の経験が入賞者の皆さんにとって素晴らしいものであったことを願います。





例会報告

第2545回●2019・3・8(金)

◇司会 秋間正好会場監督補佐

◇開会点鐘 峰尾孚会長

◇Rソング 我らの生業

◇お客様のご紹介

NTTクラリティ(株)

半沢一也代表取締役社長

東京八王子ロータリークラブ

小坂 優会員

青少年交換来日生シャ・リン君

◇食事と交歓 中華

◇出席報告・ニコニコ発表

河西成幸出席財務委員長

会員109名中68名出席。

出席率68%。前回2月22

日の出席率8%を100%に

修正します。

◇会長挨拶 峰尾 孚会長

会長挨拶／
峰尾 孚会長

*先週は会長挨拶の原稿を書

いては来たのですが、合わない

メガネをして来てしまつてよ

く読めませんでした。

*過日、日帰り親睦旅行のあし

かがフラワーパークへ下見に

行つてきました。4/26(金)と

いうと10連休の前日で道の

渋滞が心配されますが、今の

ところ心配はなさそうです。

*1996年に当時150年に

もなる藤を移植したそうで、

藤棚は600畳もあり、花房の長さは1m90cmあるそうです。1年に1cm伸びるということなので約200年ということになります。そして佐野厄除け大師にも参拝します。お昼もおいしい食事を楽しんでいただけたと思います。多くの方々のご参加をお待ちしておりますので宜しくお願いいたします。

◇幹事報告 小沢孝志幹事

幹事報告／
小沢孝志幹事

幹事報告／
小沢孝志幹事

*北原国際病院に入院されていた土岐会員が北原リハビリテーション病院へ転院されました。

*2750地区よりロータリーデーに向けてポロシャツ購入のお願いが来ています。各テーブルにサンプルを回しますので購入ご希望の方はサイズ等をお知らせください。3/20締切りです。

*4/7ポリオ撲滅チャリティコンサートのお知らせをメールボックスに入れましたのでご興味のある方はお申し込みください。

*来週3/15はホテルの駐車場が混みあうかもしれませんが、ご不便をおかけしますが宜しくお願いいたします。

◇青少年交換来日生で挨拶 シャ・リン君

◇記念品贈呈

傘寿お祝い…石田初雄会員

米寿お祝い…村内道昌会員

長寿お祝い…土岐静雄会員、竹松 健元会員

◇スピーカー紹介

佐藤永一会員

スピーカー…NTTクラリティ

(株)代表取締役社長

半沢一也氏

テーマ…企業における障がい者雇用の取組みと課題

例会報告

第2546回●2019・3・15(金)

◇司会 倉田 正会場監督

◇開会点鐘 峰尾孚会長

◇Rソング それでこそロータリー

◇お客様のご紹介

中央大学文学部社会情報学

飯尾 淳教授

川口図書館 成田俊雄館長

東京小金井さくらRC

真野文恵会員

◇食事と交歓 洋食

◇出席報告・ニコニコ発表

山田和夫出席財務委員長

会員109名中73名出席。

出席率73%。前回3月1日

の出席率78%を85%修正します。

◇会長挨拶 峰尾 孚会長

*来週は特別休会、その次の週

は四委員会による継続事業で、読書感想画・感想文コンクールの入賞者9名の中学生を引率し台湾の高雄市を訪問いたします。4月の第一例会でこの報告できると思います。

*以前台湾派遣に参加した時のことですが、集合時はギリギリの旅行で見違えるように打ち解け、青少年育成や国際交流等の目的が果たされたことを感じました。

*また、この事業には八王子・台湾友好交流協会の理事長でいらつしやる黒須隆二さん、八王子市図書館部の皆様、あさひ国際旅行の松島会員のご協力をいただいております。今年も無事に終了できるようにしたいと思っております。

*さて、4月1日には新しい元号の発表があります。それと共に会長の任期も四分の三が過ぎようとしています。残りの四分の一も一生懸命にその任を果たしたく思っておりますので会員の皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

◇幹事報告 小沢孝志幹事

*次回の例会は4/5です。3/22と29は京王プラザホテル八王子での例会はごさいませ

ん。メイクアップ用紙の用意をいたします。

*3/27(木)から30(土)まで

台湾を訪問します。その間の連絡は加藤直也副幹事または事務局へお願いいたします。

*4/6(土)東京オリンピック・パラリンピックのマラソンコース(往路)を歩くイベントがあります。FAX及びメールを送りいたしますので詳細は事務局までお問合せください。

◇スピーカー紹介

小杉吉己プログラム副委員長

スピーカー…中央大学文学部社会情報学教授飯尾 淳氏

テーマ…読書感想文コンクール作品を対象とした計量テキスト分析

◇開会点鐘 峰尾孚会長

東京八王子西ロータリークラブ

東京都八王子市旭町14番1号

京王プラザホテル八王子 8F 〒192-0083

TEL.042-649-3751 FAX.042-649-3753

http://www.hachioji-west-rc.org

会長 峰尾 孚 幹事 小沢孝志

広報委員会 原 蔵 青木清治 平野智彦 土岐静雄
大田吉彦 浅川立憲 小林孝行